

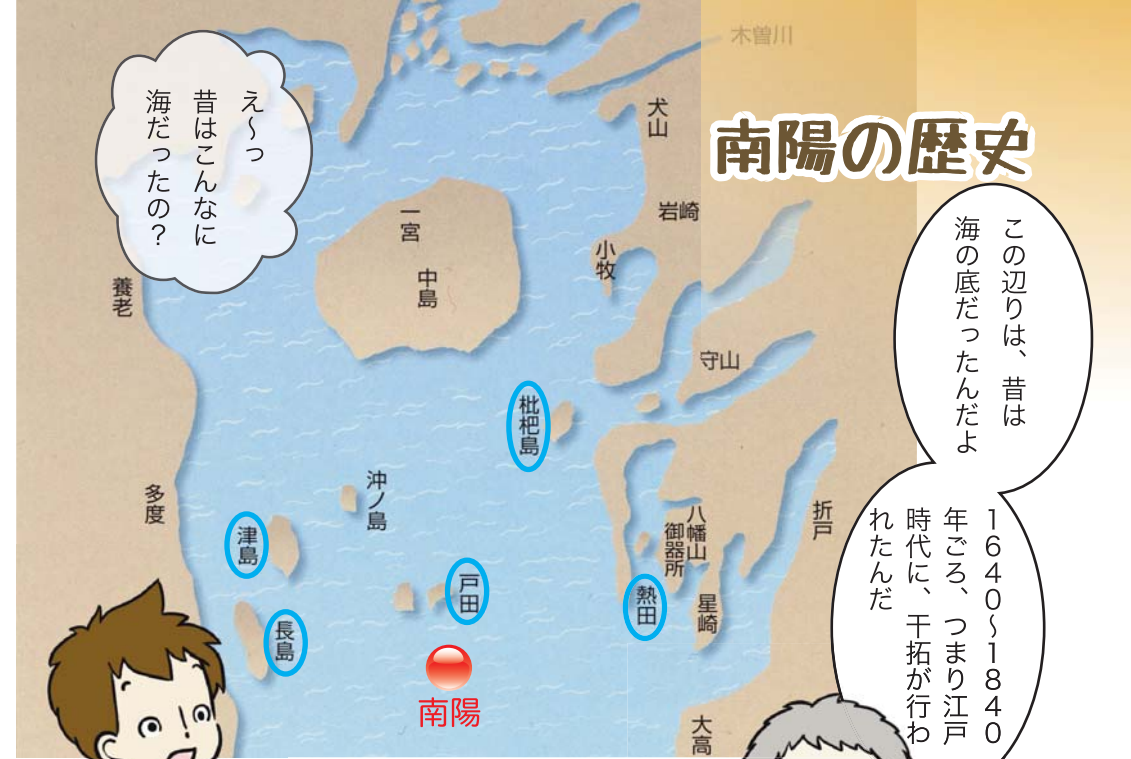


陽介くんの散歩
PART 2
—ようすけくんのさんぽ—

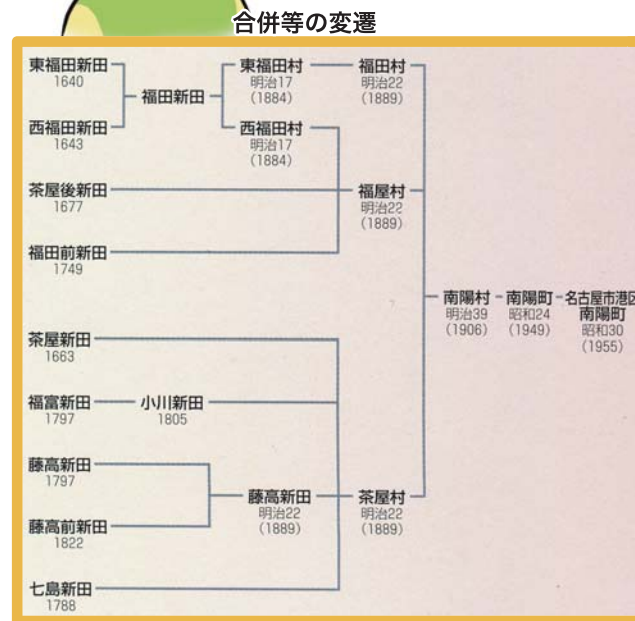




南陽の歴史

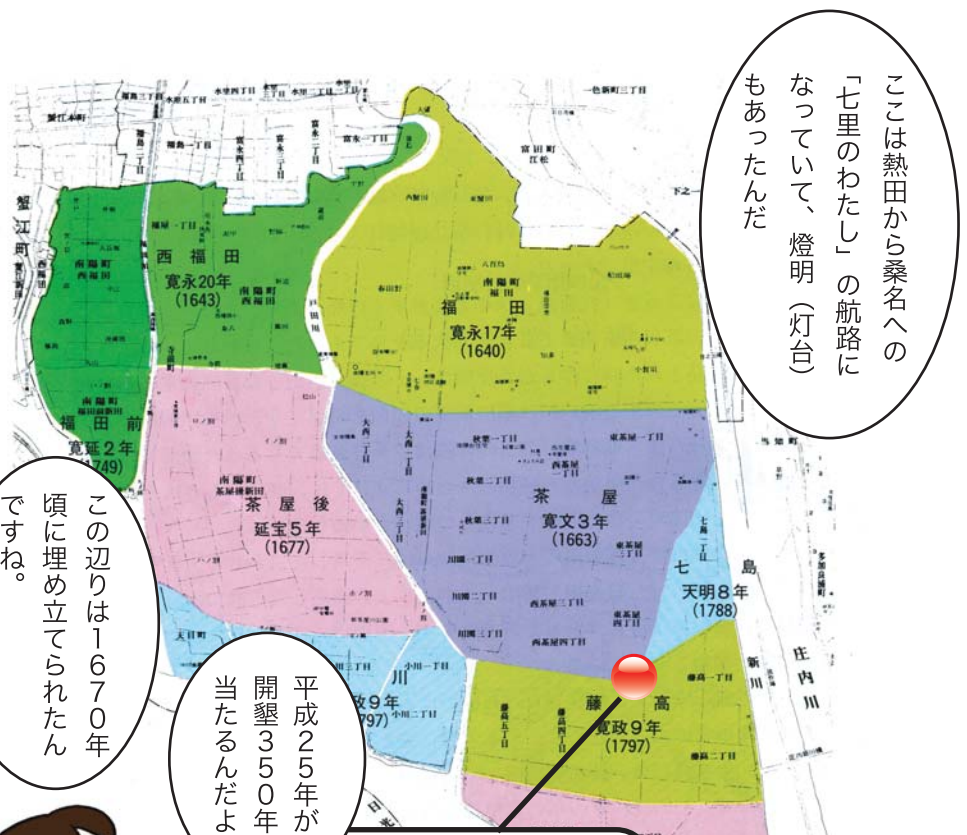


昔の地図 養老年元（西暦717年） 出典：尾張地図



memo
茶屋新田は1663年に名古屋茶屋長意が干拓し、今の新川西から一番割、二番割、三番割…と並び、当時村落は18戸であった。

memo
伊勢湾に望むこの土地は、比較的暖かみを感じ、「南の陽（ひなた）」の意味から、南陽と名付けられたと言われている。



この辺りは1670年頃に埋め立てられたんですね。

平成25年が開墾350年に当たるんだよ

寛
一、吉利支丹御番所
一、昼夜共油断仕間敷事
一、海上を何共知不申船
通候はは相改め
留置番を付早く注進可申事
一、何様の儀有之候共
御番所二人ながら
明申間敷事
右之趣堅相守申者也
己九月（これは寛文五年己年なり）

memo
尾張誌には、茶屋新田の南はその昔熱田から桑名への海上七里の渡船の航路に当たっており、しかも州が多かったため、南端に燈明があったと記述されている。現在も喚応寺の西に立札が設置されている。



現在の南陽町



50年前の南陽町

今と昔

現在



旧役場前付近

50年前



旧役場前付近

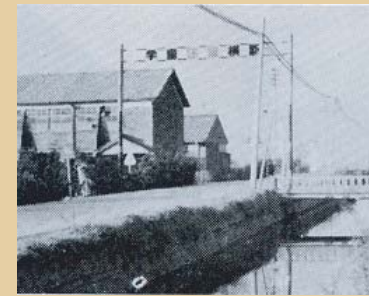


現在



旧南陽小学校東側付近

50年前



旧南陽小学校東側付近



今と昔
違うのね



昔は家も
まばらだねえ



現在



万場藤前線・知多交差点

50年前



万場藤前線・知多交差点



伊勢湾台風

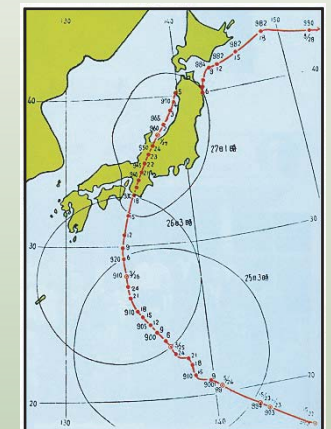


水の中援助物資を運ぶ親族 出典：私たちの郷土

台風15号による被害状況

	全 国	愛 知 県	港 区	南陽地区
死 者(人)	4,764	3,142	360	199
家屋全半壊(戸)	144,999	86,544	16,252	1,772
床上浸水(戸)	194,397	104,017	3,947	1,772

台風15号経路図



昭和34年に伊勢湾台風がこの地区を襲って、南陽地区でも199人が命を落としたんだよ

うちのおばあちゃんも本当に恐かったって言ってたわ



この台風の被害をきっかけに、地元の人々が一致団結して土地改良事業を進めたんだよ



memo【台風15号の概要】

台風15号は、中心気圧は894mb、最大風速75m/sで台風史上第3番目の大型台風であった。

台風疎開へ大須小学校へ



南陽小、中学校の上空、東から西を望む



昔の人の苦勞があつて今の南陽があるんだね



舟によって復旧作業に向かう人たち



浸水後2週間、いまだ濁水に浮かぶ、南陽小学校茶屋分校



memo【台風15号の被害状況】

9月26日に日本列島を襲った台風15号により、南陽地区の海岸堤は10数カ所にわたって決壊し、海水は一瞬にして住居、田畑を押し流し、199名の南陽地区の住民が犠牲となった。南陽地区の堤防は決壊口が非常に大きかったのと、機材輸送路が全く途絶していたため工事が遅れ、10月27日ようやく全決壊箇所の締め切りに成功し、11月16日に南陽地区の排水も完了した。

祭りとイベント



田んぼアート
田植えの様子



川原



橘



茶屋



memo【神楽】

神楽屋形は、現在では愛称をこめて単に「神楽」と呼ばれているが、本来、獅子舞に使われる獅子頭を持ち運ぶための収納箱であった。

秋

memo【田んぼアート】

緑色の稲「あいちのかおり」や、黒色の古代米などで絵と言葉を表現する「田んぼアート」を茶屋新田地域資源保全隊と県、市が実施。東日本大震災の被災地へ復興の願を発信した。



南陽には町内ごとに神楽があるんだよ
毎年、秋のお祭りの時に練り歩くんだ



子供獅子



わあく立派だねえ



秋祭りの様子



お祭り楽しそう!



夏祭りの様子

夏

昔の生活



昔の民家



田植えの様子



田んぼの中の水路



唯一の交通機関（百姓舟）

昔は田んぼに行くのにも
道路がなくて、船で
全部運んでいたんだよ

memo【菓子ほかり】

江戸時代の人は嫁がムラから出て行くのを石を投げて妨害した。これをやめさせるために祝儀や菓子を渡したという説が有力



結婚式

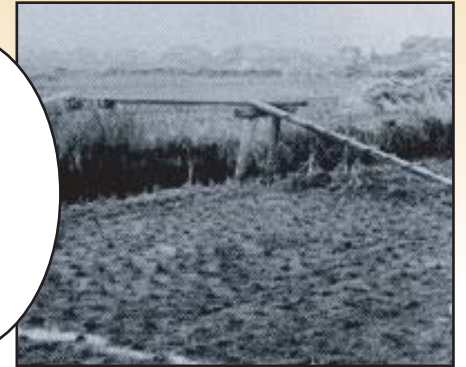
これは昔の
結婚式の様子だよ
「菓子ほかり」と言って、
屋根からお菓子を
ばらまいたんだ。



へえ!

水路には簡単な橋が
架けられていたんだよ

土地改良事業で
道路や水路が作られるまでは
本当に大変だったんだ



水路にかかる一本橋

船の航行を邪魔しないように、30 cm 足らずの狭一枚板の橋は高く上げられており、大変危険だった



土地改良事業のパイプライン工事



土地改良事業の水路工事



菓子ほかり

おまちどうさまです。
 待望の第2巻がやっとできました。今回は陽介くんのみどりちゃんが学校の宿題で地元の歴史を調べる宿題編です。
 南陽町はいまから350年も前に祖先の計り知れない努力で海を埋め立ててつくられた新しく生まれた町です。そして、平和な現在では想像もつかない多くの苦難を先祖は耐えしのぎ、この南陽町を今のような住みやすい町につくりあげてきました。農業で名古屋の生活を支えてきたこの地域は、戦後の急激な人口増加や社会構造の変化などにより、人々が生活をする住宅地が変わるつとじています。
 今回の土地画整理事業はさらに便利で住みやすい町をつくる為に行なわれています。そして、この地域の新しい歴史をどのように刻むか、が求められています。新しいきれいな街並ができて、通勤に便利な公共交通機関ができて、空が広い自然豊かな南陽町は変わりません。現代的で美しい建物が並ぶシンボルロードや雑木林のある自然観察公園などは新しい南陽の象徴です。
 新しい歴史をつくる為に過去の歴史から学ぶことは多くあります。

茶屋新田地区まちづくり計画検討委員会
 野田理吉（愛知県立芸術大学）

○茶屋新田地区の歩み

- 1663年（寛文 3） 茶屋新田干拓
- 1906年（明治 39） 福田村、茶屋村、福屋村が合併し南陽村となる
- 1955年（昭和 30） 名古屋市へ合併
- 1959年（昭和 34） 伊勢湾台風襲来
- 1967年（昭和 42） 土地改良事業に着工
- 1977年（昭和 52） 土地改良事業完成
- 2007年（平成 19） 市街化区域へ編入
- 2008年（平成 20） 土地画整理組合設立認可

【問い合わせ先】

茶屋新田土地画整理組合事務所
 052-618-7732 052-618-7724(FAX)
 chaya-kukaku@drive.ocn.n.jp

制作発行：名古屋市茶屋新田土地画整理組合
 協力：(財)名古屋都市整備公社
 企画制作：愛知県立芸術大学 野田理吉、坂口真耶

